

レジメン名

SOX+Trastuzumab療法

出典 Cancer Chemother Pharmacol. 2020
Jan;85(1):217-223.

実施部署区分

☒ 入院
☐ 外来
☐ 処置

対象疾患

HER2陽性胃癌

☒ 進行・再発
☐ 補助療法(術前・術後)
☐
☐

投与減量の基準(エルプラット)

ANC	500/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
nadir時に以上基準を満たした時			
その他	投与日のPLT 7.5万以上10万/mm ³ 未満の時 投与日のANC 1500/mm ³ 未満の時 Grade3以上の発熱性好中球減少症、Grade2以上の末梢神経障害 以上基準を満たした時以下のように減量 L-OHP: 130mg/m ² →100mg/m ² →75mg/m ²		

投与減量の基準(ティーエスワン)

ANC	500/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
下痢	Grade3以上	CLor	60mL/min未満 ^{※4}
その他	投与日のANC 1500/mm ³ 未満の時 Grade3以上の発熱性好中球減少症 以上基準を満たした時以下のように減量 TS-1: 80mg/m ² →1段階減量→2段階減量		

投与中止の基準

ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
		CLor	30mL/min未満※4
LVEF(トラスツズマブ)		開始時: 50%未満※5	
その他	※5 LVEF40%未満もしくは40%以上50%未満でベースラインから10%減少した場合、トラスツズマブ中止 Grade3以上のinfusion reactionでトラスツズマブ中止 Grade3以上の末梢神経障害でエルプラット中止		

1コース期間 21日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
トラスツズマブ※2	初回8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	NS250mL	90分※1	day1
※1 初回90分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能 ※2 心エコー検査を3か月毎に実施				
オキサリプラチン(エルプラット)	130mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	day1
ティーエスワン	80mg/m ² ※3	朝、夕食後		day1タ-15朝
	※3 体表面積ごとで初回基準量を決める 1.25m ² 未満: 40mg/回 1.25m ² 以上～1.5m ² 未満: 50mg/回 1.5m ² 以上: 60mg/回			
※4 腎機能によるティーエスワン初回基準量 80>CCr(mL/min)≥60: 必要に応じ1段階減量 60>CCr(mL/min)≥30: 原則として1段階以上の減量(40未満は2段階減量が望ましい) 減量方法: 100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止				

1日投与順 (経時的にプレデイゼーション・ ポストデイゼーション、溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②トラスツズマブ+注射用水必要量+生食250mL(90min ^{※1}) ③アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート6.6mg(15min) ④エルプラット130mg/m ² +5%糖液500mL(2hr) ⑤生食50mL(フラッシュ用) day1ター15朝 TS-1 80mg/m ² ^{※3,4} 分2 朝夕食後